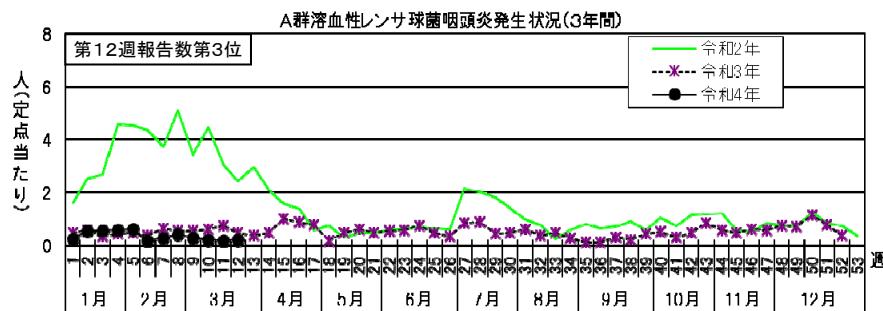
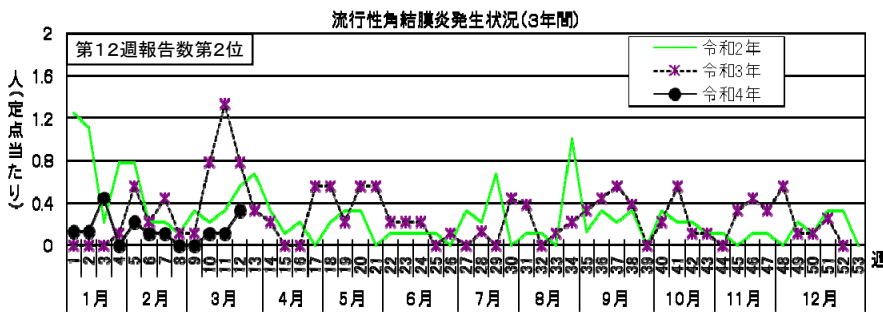
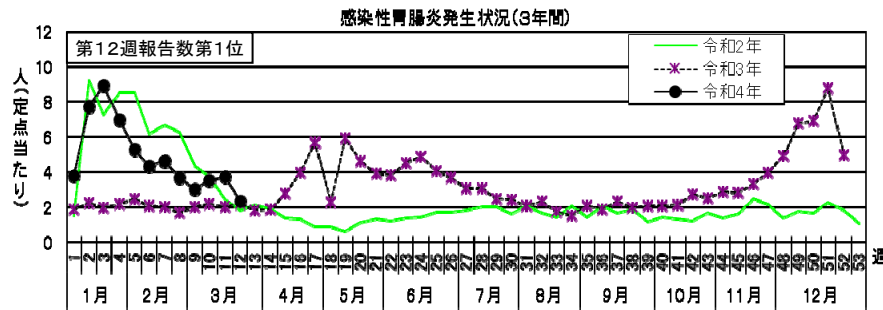


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和4年3月21日（月）～令和4年3月27日（日）〔令和4年第12週〕の感染症発生状況

第12週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) 流行性角結膜炎 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は2.30人と前週(3.70人)から減少し、例年並みのレベルで推移しています。
 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は0.33人と前週(0.11人)から増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.22人と前週(0.16人)から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。



新年度から元気に過ごすために！

これから新年度を迎え、保育園や学校などでの集団生活が始まり、接触の機会が増加すると、様々な感染症にかかる可能性が高くなります。新型コロナウイルス感染症の流行開始以降、多くの感染症の報告数が減少しましたが、今後は徐々に増加する可能性があります。例年、春から初夏にかけては、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎や咽頭結膜熱などの流行がみられるため、こまめな手洗いなど基本的な感染対策を心掛け、体調管理には十分注意しましょう。

また、麻しんや風しんなどのように、ワクチン接種で感染を防ぐことができる感染症もあります。川崎市では、申請することで定期予防接種の接種期間を延長できる場合もあるため、入園・入学前に予防接種歴を確認し、まだ定期予防接種が済んでいないお子さんは早めに接種を受けましょう。

感染症にかからないために気を付けるポイント



- ①予防接種
- ②こまめな手洗い
- ③正しいマスク着用
- ④十分な睡眠
- ⑤バランスのとれた食事

麻しん・風しん(MR)定期接種の対象者

- 【第1期】
生後12月から生後24月に至るまでの間にある者
- 【第2期】
小学校就学前の年度1年間（4月1日～翌年3月31日）にある者

